



## 「Daub 権利エクステンジ オンラインプラットフォーム」サービスの概要

東和国際特許事務所  
弁理士  
加藤 来

特許権や権利化前の特許を受ける権利などの知的財産権の活用を目的とした「Daub 権利エクステンジ オンラインプラットフォーム」サービスについてご紹介致します。

※ Daub は弊所と提携しているドイツ代理人です。

### 1. 「Daub 権利エクステンジ オンラインプラットフォーム」サービスとは？

権利者や出願人が、知的財産権に関する権利や出願を、第三者に売ったりライセンス許諾する場（プラットフォーム）を提供するサービスをいいます。

### 2. 目的

知的財産権の活用の効率を高めることを目的としています。

例えば、日本で特許を受ける権利を持っている（日本で出願した）が日本で実施の予定のない方と、海外で権利化を図って実施したい方とを引き合わせる場を提供して、知的財産権の活用の効率を高めます。

### 3. サービスの特徴（売る側の手順）

3.1. まず、プラットフォームに出願内容を登録します（図1参照）。

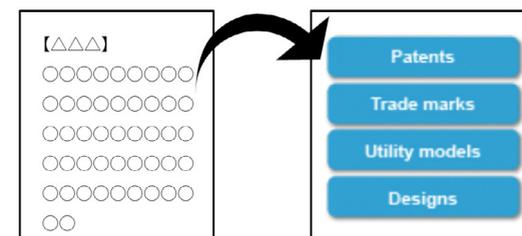


図1

3.2. すると、登録された内容がプラットフォーム上で最新案件として発行されます（図2参照）。



図2

3.3. プラットフォームに登録された他のユーザーが、プラットフォーム上の登録された内容を見つけます（図3参照）。

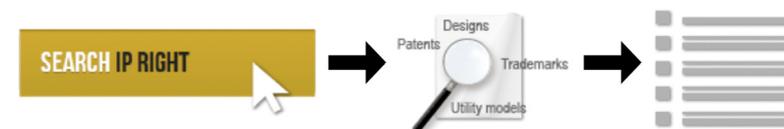


図3

3.4. プラットフォーム上で興味を持った他のユーザーから問い合わせや申し込みがあります。プラットフォーム外で個々に交渉を行います（図4参照）。



図4

### 3.5. 契約成立(図5参照)



図5

## 4. どのような方に有用か

- ・海外で事業の実施予定がなく、国内でのみ事業を実施する方(売る側)  
→例えば、海外での優先権主張をして特許などを受ける権利を海外の他のユーザーへ譲渡して収入を得ることができます。
- ・国内および海外でも事業の実施予定がない方(売る側)  
→例えば、国内での特許を受ける権利や特許権などを国内の他のユーザーへ譲渡して収入を得ることができます。
- ・権利はないが国内で事業を実施したい方(買う側)  
→例えば、ご自身がユーザー登録して、プラットフォーム上の特許を受ける権利などを他のユーザーから譲り受けて、国内で権利化を図るとともに事業を実施することができます。

## 5. 料金について

プラットフォームに登録するのは、無料です(ただし、Daubが代理した場合は費用が発生します)。したがって、この「Daub 権利エクステンジ オンライン プラットフォーム」サービスを利用する際のリスクは小さいです。売買契約やライセンス契約が成立した際、権利者が売買などの額の5%の料金をDaubに支払います。

以上のように、権利化後の所謂、休眠特許の活用のみではなく、権利化前の段階で国内外の登録された他のユーザーと交渉することにより、権利活用の効率が高まることが期待できるサービスです。予想していなかった他の分野のユーザーから問い合わせがある可能性もあります。

そして、国内外の登録された他のユーザーとの新たな関係を築けるので、グローバルに事業を展開している企業だけでなく、国内で事業を展開している企業や個人、事業を展開する予定のない企業や個人の全ての方にとって、ご自身の知的財産権の可能性を広げる魅力的なサービスといえるでしょう。

※「Daub 権利エクステンジ オンライン プラットフォーム」サービス  
<http://www.right-exchange.com/en.html>